



まつ もと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど 政治瓦版

令和5年4月10日号
発行

自民党

松本純 後援会
発行責任者
平木 茂

4月号
2023年
No.241



松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/> ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp

最大限の外交努力と侵略させない抑止力拡大の必要

日本の安全保障 浜田靖一防衛大臣と懇談

我が国日本を取り巻く情勢は非常に厳しいものとなっています。現在、ロシアによるウクライナ侵攻が大きな問題になっていますが、この問題は2014年のロシアによるクリミア半島の一方的な領有に始まります。そして、アジアも決して他人事ではありません。

このような環境変化に合わせ、2015年安倍総理の指示の下で『平和安全法制』がなされました。松本も『平安特』（『我が国及び国際社会の平和安全法制に関する特別委員会』）において浜田靖一委員長のもと調整役として理事を務め法案成立に尽力いたしました。

日本の外交方針である「積極的平和主義」のもと、最大限の外交努力を行うのが大前提ではありますが、同時に相手に侵略させない抑止力を拡大する必要があります。また、アフガニスタン問題でも明確化したように、外国で活動する日本人を保護し帰国させるための制度の改善も喫緊の課題となっています。日本政府としては、防衛三文書の改定、防衛費の増額といった形で、現在の国際情勢に対応できる仕組みづくりを進めています。



浜田大臣は「外交が一番前に出て、それを担保するのが我々の仕事。この国を守り抜くための最善の策はいったい何なのか、それを常に考えています」と自らの使命を語りました。

岸田総理の4月4日「防衛三文書」に関する報告と質疑に続き「防衛力強化財源確保特措法」趣旨説明、「防衛省調達装備品等開発生産基盤強化法」趣旨説明が行われ審議に入りました。

浜田大臣から「今ワンピース欠けている。それは調整役の松本純。早く戻って欲しい」と。また4月6日に行われた志公会でも、麻生会長から国民に対する丁寧な説明の下で、これらの重要法案の審議を加速し、確実な成立を目指すように訓示が行われ、松本には副総裁特別補佐として、法案成立に向けて議員間調整や支援を行うよう指示が出されました。

政治の最大の使命は、国民の生命、財産、安全を守ること、松本は今松本ができることを一つ一つ丁寧に行ってまいりたいと考えています。

※ 「なぜ」「いま」平和安全法制か ? https://www.kantei.go.jp/jp/headline/heiya_anzen.html



※ 防衛三文書「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」
<https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html>



第20回 統一地方選挙《神奈川一区 選挙結果》 令和5年4月9日執行

【中区】

県議会議員(定数 2)

有権者数 118,927票
▷投票数 47,956票
▷投票率 40.32%

当選 原 聰祐 15,434票 自民
当選 作山 友祐 13,377票 無所

市会議員(定数 3)

有権者数 118,578票
▷投票数 47,955票
▷投票率 40.44%

当選 伊波俊之助 10,096票 自民
当選 福島 直子 9,639票 公明
当選 松本 研 8,786票 自民

【磯子区】

県議会議員(定数 2)

有権者数 137,935票
▷投票数 59,897票
▷投票率 43.42%

当選 新井 絹世 24,473票 自民
当選 市川 智志 12,941票 立民

市会議員(定数 4)

有権者数 137,603票
▷投票数 59,901票
▷投票率 43.53%

当選 二井久美代 12,326票 無所
当選 関 勝則 8,169票 自民
当選 武田 勝久 7,761票 公明
当選 太田 正孝 7,743票 無所
次点 山本 尚志 7,287票 自民

【金沢区】

県議会議員(定数 2)

有権者数 164,569票
▷投票数 73,570票
▷投票率 44.70%

当選 大村 悠 28,659票 自民
当選 松崎 淳 26,916票 立民

市会議員(定数 5)

有権者数 164,088票
▷投票数 73,555票
▷投票率 44.83%

当選 高橋 徳美 17,508票 自民
当選 谷田部孝一 13,271票 立民
当選 黒川 勝 12,063票 自民
当選 竹野内 猛 11,517票 公明
当選 坂井 太 6,828票 維新

永田町日記

田畠裕明 厚労部会長に聞く

医療不安の解消へ 公平な「全世代型社会保障制度」構築も視野に

松本 自民党にはそれぞれの委員会に合わせて部会という制度があり、党側で政策をまとめる最も重要な役割が部会長です。田畠裕明厚生労働部会長は、裏方として厚生労働行政の中核を担う方です。私とは厚生労働分野のみならず、深いかかりわりのある方です。

田畠 現在コロナの第8波は下り坂になってきており、政府としても3

月13日からのマスク規制解除や5月8日からの5類相当への引き下げなど、活動再開に向けての動きが本格化していますが、医療関係者や厚生福祉関係者からは不安の声も上がっています。今回対策本部がなくなるなど局面が大きく変わることになりましたが、関係者の不安や心配に真剣に耳を傾け、不安の払しょくに努めたいと考えています。

松本 国民皆保険制度を堅持してゆくことが最も大切と考えますが、一方でそれには巨額のコストがかかり、それが国民の負担になります。この点に関してどのようにお考えでしょうか。

田畠 現在、様々な分野でIT化が進んでいます。医療分野でも、電子処方箋や電子カルテなどのデータ集約が進められており、まずはデータを駆使した無駄のあぶり出しと効率化を進めたい。やみくもに消費税などを上げるのではなくデータを積極的に活用する。また公平な「全世代型社会保障制度」の構築も進めたいと考えています。現在、年齢などで区切られている負担とサービスを所得や環境などで分類する中立な制度に変えてゆきたいと考えます。同時に所得の低い方やハンディキャップのある方のセーフティネットを充実させ、住み慣れた地域で自立した生活ができる制度も作りたいと考えます。

松本 ありがとうございました。お互いにぜひ頑張りましょう。

